

都鶴（都鶴酒造）

都鶴と呼ばれる日本酒については 1840 年に最初に記述されているが、最初に作った人についてはほとんど知られていない。日本酒の名前は、「古都」を意味する「都」という言葉と、日本語の「鶴」という言葉を組み合わせたものである。

都鶴酒造はこの素晴らしい日本酒を生産するために設立された。

伝統的に千年生きると信じられてきた鶴は、日本の芸術や文学では何世紀もの間、優雅さ、幸運、長寿の象徴として存在してきた。都と鶴の混成語は、京都が日本の文化的、芸術的、政治的首都であった千年の歴史を思い起こさせる。

比較的小規模な伏見の酒蔵の 1 つである都鶴は、古くから京都府の丹波地方と深い関係があり、歴史的にもそこから蔵人たちが季節労働者としてやって来た。同社は伝統的な酒造りの技術を守り続けことに誇りを持ち、シンボルである鳥の長寿と優雅さを手に入れるよう努めている。